

題材「ことばっておもしろいなあいうえお作文を作ろう」

」

(1) 学習のねらい

子どもたちが学習材に出合い言葉の楽しさにきづき、自分であいうえお作文を作ることを通して言葉に対する感覚を豊かにする。

(2) 本時の学習材

あいうえお作文

○ 語ることを得意とすることが多い子供たちは言葉に興味を持っていて自分の中の言葉をさらに広げたいと思っているそこでこの学習材を提示してゆく。

○ 本学習材は教師のつくったあいうえお作文である。この学習材に出合った子どもたちは自分たちで作ってみたいと思うだろう。あいうえお作文を作ることで子どもたちの言語感覚を豊かにできる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	① 今日やることの説明。 学習材の提示	<ul style="list-style-type: none"> この文はなんかおかしい 最初の文があいうえおになっている。 次の文はかきくけこになっている つくってみたい 	○' 10分	<ul style="list-style-type: none"> 最初の行に気付かせる。 わからない子供たちがいたら追加で学習材を提示する
	② あいうえお作文をつくる。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 学習問題 あいうえお作文を作ろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 面白い分ができた。 〇〇君のここが面白い 	○' 25分	友達の文のいいところを探すように指示。 悪口は言わないように注意する。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習課題： あいうえお作文を知っている言葉からつくる。 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 学習材 あいうえお作文 </div>
	3. 本時を振り返り。	<ul style="list-style-type: none"> 僕はここをこういう風にしたよ。 〇〇君のここが一番面白かった。 	○' 10分	拡大鏡を使いプリントを児童に見やすいようにする。 児童を当てる。
終末				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 評価 授業中や振り返りシートから言葉遊びを楽しめたかどうかを見る。 </div> 友達の面白かった所や自分の工夫した点を振り返りに書かせる。